

各構想区域における地域医療構想調整会議の開催状況等について

1 地域医療構想調整会議の設置要綱等について

別添のとおり。

2 開催状況等の概要（1月17日現在）

(1) 開催済みの構想区域の状況

構想区域 (開催期日)	主な意見等
宮古構想区域 (8月24日)	<ul style="list-style-type: none"> 圏域外への流出も含めた住民の医療需要を踏まえて医療提供体制を考えて行く必要がある。 医師確保が最重要課題である。 病床削減ありきではなく将来の医療提供体制を考えるという姿勢が必要
気仙構想区域 (11月28日)	<ul style="list-style-type: none"> 入院患者は減少傾向にあり、医療需要に応じた体制としていく必要がある。 地域包括ケアの実現に向けては、高齢者の移動手段の確保も重要な課題ではないか。 施設や居宅への歯科訪問診療が定着しつつあり、今後も件数が増加していくのではないか。 在宅医療を進めて行くには訪問診療と訪問看護の連携が重要 独居高齢者、独身男性と高齢の両親の同居など、家庭の介護・看護力が乏しい世帯について、専門職の訪問だけでは成立しないケースが増えている。 10年、20年先の従事者確保を考えると施設の充実も必要ではないか。
二戸構想区域 (1月11日)	<ul style="list-style-type: none"> 今後、県立病院同士の役割分担を検討していく。 人口とともに医療需要が減少していく中で現在の医療をいかに維持していくかが最重要課題ではないか。 医師確保が全ての大前提である。
久慈構想区域 (1月17日)	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療の確保のためには、医師確保が重要である。 在宅医療について、地域の医師が新たな考え方で取り組むことも必要ではないか。

(2) その他の構想区域における開催見込み

構想区域	開催見込み
盛岡構想区域	2月10日
岩手中部構想区域	2月3日
胆江構想区域	2月下旬
両磐構想区域	3月
釜石構想区域	1月26日

3 資料の構成例について

別添のとおり（気仙構想区域の例）。

- ア 資料1 地域医療構想調整会議について
- イ 資料2 構想区域の人口動態、医療提供体制の現状等について
- ウ 資料3 平成27年度病床機能報告結果の概要について
- エ 資料4 平成27年度病床機能報告の結果（構想区域・医療機関別）
- オ 参考資料 岩手県保健医療計画及び主な関連計画の見直し等について